

21.5世紀の音楽

AIと現代の音楽

21世紀半ばに向けて現代の音楽に、
どのような可能性があるのかをいくつかの角度から探り、
音楽の近未来について考える新シリーズ。

2026年9月26日(土) 14:00開演(13:30開場)

[第1部] シンポジウム 「AIと現代の音楽について」

登壇者



安藤 大地



徳井 直生



中ザワ ヒデキ



沼野 雄司

[第2部] AI×委嘱作品 世界初演コンサート AIをテーマにした委嘱作品を 書き下ろす3人の作曲家

作曲家



柴山 真太郎



坂東 祐大



向井 響

料金(全席指定・税込) 一般 3,500円 U24(24歳以下) 1,500円

発売日: KAmE(かながわメンバーズ) WEB先行6月6日(土) / 一般発売6月14日(日)

[チケット取扱い]

●チケットかながわ 0570-015-415 (10:00~18:00)

[窓口] KAAT神奈川芸術劇場 (10:00~18:00) / 神奈川県立音楽堂 (13:00~17:00 月曜休)

[WEB] <https://www.kanagawa-kenminhall.com/d/future01>

●イープラス <https://eplus.jp>

●横浜市港北区民文化センター ミズキーホール (4階) ※窓口販売のみ [第3火曜休 TEL: 045-533-2360]

6/14(日) 発売初日は10:00~20:00、以降9:00~20:00 ※現金のみの取り扱い



会場



ミズキーホール

横浜市港北区民文化センター

東急新横浜線「新綱島駅」直結 / 東急東横線「綱島駅」徒歩3分

AIと創作—今やごくありふれた題材かもしれない。すでにAIは創作と批評、技術と感性の深部にまで入り込み、日々、無数の実践が更新され続けている。が、だからこそ2026年というこの瞬間に問われなければならない。AIと音楽に関して、いったいどのような可能性と限界が存在するのか。9月26日のFeaturing Futureでは、その根本的な問いに思想と作曲の両側から迫ってみたい。幸いにして、現在、このテーマに関してもっとも刺激的なメンバーを集めることができたと自負している。

今回は『AIと現代の音楽』をテーマに、第一人者によるシンポジウムと

沼野 雄司
(神奈川芸術文化財団 音楽事業芸術参与)
新作発表コンサートで深掘りする

登壇者



安藤 大地
(作曲家、音楽／情報科学研究者、東京都立大学学術情報基盤センター教授)
国立音楽大学声楽専攻を経てコンピュータ音楽へ転向。チャルマース工科大学MSc.、東京大学大学院博士課程修了。博士(科学)。現在、東京都立大学教授。ロジックの最適化、生物模倣、群知能を基盤とした音楽AIを研究し、作品はICMC等の国際会議で上演されている。現代音楽・電子音響音楽分野での活動に加え、近年は人間のジャズ即興の音楽知識を計算機に取り込む研究に取り組む。



徳井 直生
(株式会社Neutone 代表取締役、跡見学園女子大学情報科学芸術センター特任教授)
アーティスト／研究者。AIによる人間の創造性の拡張を、研究と作品制作の両面から探求。これまでに手がけた作品はニューヨークMoMA、バービカン・センター、ICCなどで展示され、MUTEKやSónar等でライブも行う。2023年設立のNeutoneではAIを用いた新しい「楽器」を開発。著書に『創るためのAI』(BNN、2021年、大川出版賞)。続編、『つくることとAI—生成と複製の間で』(仮題)を出版予定。博士(工学)。



中ザワ ヒデキ
(美術家、人工知能美学芸術研究会(AI美芸研)代表)
美術家。1963年、新潟県生まれ・神奈川県育ち。千葉大学医学部卒。1990年代の「バカCG」を経て、2000年「方法主義宣言」、2010年「新・方法主義宣言」、2016年「人工知能美学芸術宣言」。3Dプリンタ関連特許、著書『近代美術史テキスト』『西洋画人列伝』『現代美術史日本篇 1945-2014』、CD『中ザワヒデキ音楽作品集』。元・文化庁メディア芸術祭審査委員。人工知能美学芸術研究会発起人代表。



沼野 雄司
(音楽学者、神奈川芸術文化財団 音楽事業芸術参与／企画監修)
東京藝術大学大学院博士課程修了。博士(音楽学)。主な研究領域は20～21世紀音楽。主な著書に『音楽学への招待』(春秋社)、『光の雅歌 西村朗の音楽』(春秋社／共著)など。国内外での学会発表のほか、音楽批評、演奏会・CDライナー解説の執筆、音楽祭の企画・監修、コンクールの審査員、オーケストラや演奏活動の公的助成審査などに幅広く従事。2008年から2009年にかけてハーヴァード大学客員研究員。現在、桐朋学園大学 音楽学部・学部長、同教授。

作曲家



柴山 真太郎
音楽と社会の接点を模索し、現代音楽や実験音楽の作品を創作する。演奏者の自律性に対する再考を通じて、他者との新たな共生のための対話構築を目指す。東京藝術大学大学院修士課程を修了。第36回現作曲新人賞を受賞。現在、昭和音楽大学にて非常勤講師を務める。音楽家の川崎慎耶と共に、コレクティブ「CreativeMMCP」を設立。2026年2月には、ミュージックフロムジャパン委嘱作品がNYで初演され、成功を収める。



ヴァイオリンI
加藤綾子



ヴァイオリンII
川崎慎耶



ヴィオラ
中村みちる



チェロ
下島万乃



坂東 祐大
作曲家／音楽家。東京藝術大学作曲科及び同大学院修了。第25回芥川作曲賞受賞(2015年)。Ensemble FOVEを設立。主要作品に「火花・ピアノとオーケストラのための協奏曲」、ミュージックテアター「キメラ—あるはずのないメソッドの空想」(2026年、彩の国さいたま芸術劇場)など。是枝裕和監督『箱の中の羊』、『ルックバック』(いずれも2026年)等の音楽を担当。令和5年度「咲くやこの花賞」音楽部門受賞。第67回毎日芸術賞ユニクロ賞受賞。<https://www.yutabandoh.com/>



ギター
関喜弦介



向井 響
作曲家。桐朋学園大学卒業。ハーグ王立音楽院ソノロジー研究所修士課程修了。第84回日本音楽コンクール作曲部門、マータン・ギボル国際作曲賞、ORDA-2019作曲部門、第33回ACL青年作曲賞、各1位。ストラスブル現代音楽祭にて最優秀賞、ローソン・メイ作曲賞、マリン・コレミノフ国際作曲賞を受賞。これまでに、NHK、東京文化会館、ボンビドー・センター、グルベンキアン財団より委嘱を受ける。RMF奨学生、令和3年度文化庁新進芸術家海外研修員。現在、三井グループ、野村財団の支援を受け、ポルト大学博士研究員。



メソソプラノ
浅野千尋



ファゴット
保崎佑



ヴァイオリン
千葉水晶



チェロ
北島愛季



コントラバス
白井菜々子



ハープ
吉田遥矩果



指揮
浦部雪

演奏者プロフィールの詳細はこちら

<https://www.kanagawa-kenminhall.com/d/future01>



ミズキーホール
横浜市港北区民文化センター

〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東1丁目9番10号
新綱島スクエア4・5階 TEL:045-533-2360

電車 東急新横浜線「新綱島駅」直結、東急東横線「綱島駅」徒歩3分

駐車場 ミズキーホール専用の駐車場はございませんが、ミズキーホールを含む複合施設「新綱島スクエア」が運営管理する有料駐車場がございます。詳細は「新綱島スクエア」のHPをご覧ください。



託児サービス

料金:2,000円(税込) 予約期間:6月15日(月)～9月18日(金)までに要事前予約

お問い合わせ・申込先

株式会社明日香 電話0120-165-115(土日祝日を除く10:00～17:00)



かながわメンバーズ(Kame)になると、人気のチケットの先行予約や、公演情報、チケット販売情報など、お得な情報をメールマガジンでお届けします。



アクセシビリティ(鑑賞サポート)あり 詳しくはHPをご覧ください

※やむを得ない事情により内容、出演者等が変更になる場合がございます。※未就学児の入場はご遠慮ください。※車椅子・ほじょ犬同伴でご来場のお客様は、事前に「チケットかながわ」までお問合せ・ご予約ください。※演奏中はお入場いただけません。開演時間に遅れた場合は、案内係の指示に従ってください。

〈神奈川県民ホール休館のお知らせ〉
神奈川県民ホールは休館中、県内33市町村で多彩な芸術文化を届け、地域に身近な感動を広げています。

お問い合わせ (公財)神奈川芸術文化財団 県域展開事業課 045-662-5901(代表)平日10:00～17:00